

【通達】

関係各位

株式会社JM
事業運営本部長 白石正勇

構内天窓ガラス破片落下事故の再発防止

標記の件、構内天窓ガラスが破損したという緊急依頼を受け、ガラス交換作業中にガラス破片を落下させ、屋根材の一部を損傷させる事故を発生させました。

本書は、全社再発防止として取り纏めましたので、徹底いただきますようお願い申し上げます。

1. 破損したガラスの取扱作業について

1) 作業員が準備する事(危険予知含む)

保護具の着用 作業員は耐切創手袋、安全靴、保護メガネ等の保護具を着用すること。また、屋根上で身を乗り出す姿勢や高所・足場での作業では、安全帯着用とすること。	
---	--

2) 破損ガラス周辺に対する配慮

周辺の養生と作業区画 作業場所床の養生は、仕上材料により堅固なベニヤ材を使用すること。また、破損ガラスが接触する恐れがある壁面等の養生には、床同様の養生材を使用すること。	
--	--

3) 破損ガラス処理開始の確認(顧客に対し)

お客様への作業内容事前説明 お客様へ本日の作業内容を説明してから、作業を開始すること。
--

4) 破損ガラス撤去作業

破損部の一体化

破損ガラス撤去時にガラス片が落下しないようテープ張を行うこと。ガラス吸盤取付位置を想定しテープ張を行うこと。



ヒビ割れが入ったらガムテープで補強

貼る時は、ソッと優しく
ひび割れが広がらないように



破損ガラスの取り外し・集積

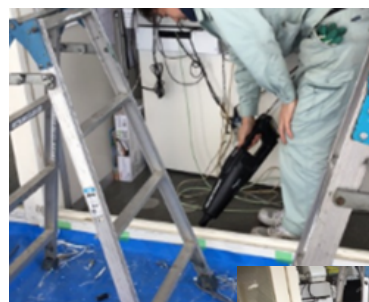
テープ張で一体化させた状態で破損ガラスの撤去を行うこと。破片の落下が想定される為、可能な限り受取材で受け、床に落下させないこと。

※上階での作業の場合は、飛散の恐れのある場所に通行人等が近寄らない様に、下階にも表示や区画の措置を行う。



破損ガラス片、養生材等の片付け・清掃

撤去時に飛散したガラス片は養生材などに包み廃棄を行うこと。養生材撤去後は清掃を行い、引き渡しを行うこと。



2. 再発防止の背景となった事故

【工事概要】

- 工事名: 構内天窗ガラス緊急復旧工事
- 工事体制: 株式会社JM 札幌中央サテライト

【事故発生の経緯】

- 9月15日17時頃 作業開始
アフターマーケット株式会社の担当者は、荷捌棟屋根上に脚立を使用し、ガラス吸盤にて、破損したガラスの撤去作業を開始した。
- 9月15日17時10分頃 事故発生
ガラス吸盤下部のガラス片が外れ、屋根材の上に落下し、屋根材を破損させた。

【原因】

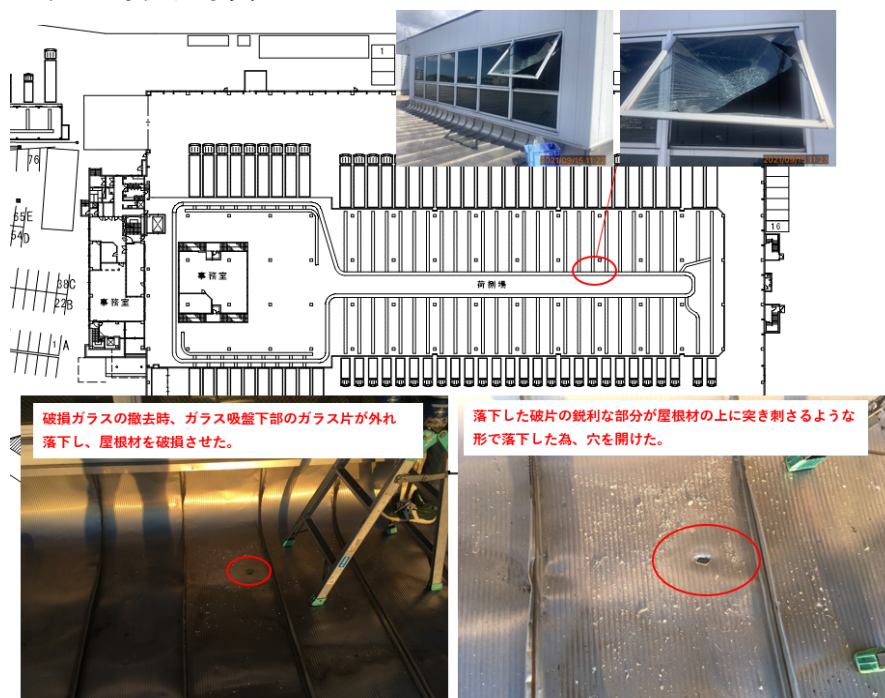
- アフターマーケット株式会社の担当者は、破損したガラス片の状況を見て、テーピングして割れた箇所を一体化してから、吸盤作業を行わなかった。
- 同担当者は、破損ガラスの作業の際に屋根面の養生を行わなかった。
- 破損したガラス作業において、ガラスの破片が落下したり、損傷させたり、自らを怪我させたり、大変危険な作業であることを認識していなかった。
- 札幌中央サテライト担当者は、作業者に対し、作業前に養生指導が不足した。

【再発防止】

- 全国のサテライトに対しては、9月17日の経営会議で、再発防止の周知を実施した。
- 破損したガラスの作業においては、破損部の一体化と周辺の養生を**作業マニュアル**として作成し、全国の1次施工会社及び職人にメールにて通知する。
- サテライトは、9月度の災害防止協議会により、1次施工会社に対し周知を行う。
- 危険作業及び事故の情報は、10月から稼働するJM職人サイトに掲載し、安全作業の自己啓発を促す。

以上

1. 発生時状況写真



2. 応急処置状況

穴あき個所にコーキングを充填し、テープ張り、雨水進入をさせない処置



3. ガラス交換完了状況

破損したガラスの交換依頼は完了済



通知対象者: 全職員及びメンバーシップ登録者 周知徹底到達日 **2021年10月22日**
担当 エンジニアリング第4部 松井・田中・大竹 (03-5276-9418)